

2026.02.12. 木曜礼拝

「私の妻は死んだ。でも私は神になぜではなく、何の意味かを尋ねる」

エゼキエル書 24 章 15 節から 27 節

JD ファラグ 牧師

一緒に祈りましょう。主よ、私たちはあなたを賛美します。あなたの御名を歌います。すべての名にまさる唯一の御名を歌います。(ピリピ 2:9)

私たちが集うことができるこの時間を感謝します。主よ、私たちの牧師を支え、御力を与えてくださることを感謝します。これからもあなたの聖霊の御力を与え続けてくださいますように。主よ、私たちが今夜、彼と共にここにいることを感謝します。あなたの御言葉を聞くのにワクワクします。私たちの心を静め、あなただけがお出来になる通り、集中力を与えてくださいませんか？主よ、週の半ばで、私たちがどんな経験をしていても、です。今夜、私たちがここにいることをお許しくださったこの時間、御言葉に集中させてください。あなたが私たちに語ってくださいますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。ようこそ。ようこそ。一 歓声&拍手 一 お〜、大勢来てくださって、、、どうぞご着席ください。どうもありがとう。皆さん、私の話を聞きに来ているのではなく、私を通して、神が語られるのを聞くためにここに来ておられるのです。だから、私は聖霊に委ね、聖霊にしかお出来にならない通り、していただきます。さて、本題に入る前に、皆さんに感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。その愛にどれだけ感謝しているかを。皆さんが私の家族と私に示してくれた愛。ええ、実は、土曜日の人生と永遠のいのちのお祝いへのメッセージカードをまだ見れていなかったんです。そして今朝ようやく、時間を捻出しました。本当に時間がなかったの。何百枚ものカードが袋に入っていて、うわお！でした。やっとの時間で、祈って、主に言いました。「OK、主よ、手伝ってください。」それで開け始めたんです。封筒オープナーに感謝。皆さん、お持ちでしょ？ 持っておられないなら、1つどうぞ。それで開き始めたんです。あなたがたは、なんと、、、何と言ったらいいかわかりません。ただ、愛、寛大さ、優しい言葉、励まし、聖句・・・なんてことでしょ。皆さん一人ひとりにお礼を申し上げるのは、文字どおり不可能です。以前はケリーにお願いしていました。それって、それって構わないでしょ？ それを使ってもいい？ そうしてました。彼女なら間違いない。住所を得て、感謝状を送らなければなりません。なので、それを今します。ありがとう。(画面に) ありがとう。本当にありがとう。ありがとうございました。一 拍手&歓声 一

わお！！ ほ〜！！ (会衆：ありがとう！) ホッとしました。皆さんにお礼のカードを送るには、携挙までかかるでしょう。なので、どうか。もうひとつ感謝したいのは、私に忍耐強く付き合ってくれたこと、私に優しくしてくれて、でも、もっと限りなく重要なのは、皆さん、とても忠実に、私のために祈ってくださって、、、私だけでなく、子どもたちにも。どうか彼らのために祈ってください。オープンに言いますと、、、時に、私がオープンなのに不快感を抱く人がいらっしやいます。でも、それが私で、神に召された私なので。でも、神はこの教師にいくつか教訓をしておられます。そう、教師として、教えられ易くなければなりません。それで、お〜なんと、挙げればきりがありませんが、そのうちのひとつを紹介したいと思います。私はとても特権に恵まれています。私はとても甘やかされています。文句ではありません。まだまだ甘やかしてね。実際、私は、最もではないにしても、甘やかされた牧師。そう思っていますし、本当にそうなのです。私は少なくとも、全世界で最も甘やかされた牧師の一人です。ええ、文句ではありません。皆さん、私を甘やかしていますって。私のことが好きなんでしょ？ 今も。土曜日に述べたように、戻ってきて、鍵が変わってないのは、いい兆候ですよ。そう、それでいいスタートが切れます。ほとんどの牧師が、、、これは実話ですよ。彼らは、私が土曜日に言ったことを、言えません。今夜、皆さんに分かち合います。彼らには、戻る教会もない。私は、5カ月もいなかったんですよ。死にゆく妻の介護で。あなたがたは私にそれをさせてくださった。第一に、私はそれを決して忘れません。でも皆さんには、感謝してもしきれません。死が2人を分かちまで、彼女のそばにいらさせてくれて。それでは、ええ、今夜は素晴らしいスタートを切りましたよね？ メガネを外して、メガネが汚れてしまったからメガネをきれいにしないとね。ぬぐい取っても、ぬぐいきれないけど。すべてが滲んでいます。だって乱視だからね。ところで、(J.D.メガネを取って、乱視) 皆さんみんな、とても素敵です。よろしい。あ、サッと言います。ええ、サッとね。私の辞書からこの2つの語彙(サット)を削除する必要があるのはわかっています。でもお知らせ通り、主の御心で、今週の日曜日、15日から「聖書預言」を再開します。でも、良い知らせは、バジマや歯ブラシを持ってくる必要はありません。11月に言ったような、12時間はしません。11時間半くらい。いやいや、実際、たぶん驚くでしょうけど、それほど長くなりません。また、それほど長くする必要もありません。長さではなく、強さ。見ていくのは、この難しいテーマへの取り組みです。『聖書預言をめぐる、クリスチャンの間で、教会内で、あざけりや言い争いが増えている』皮肉なことに、それ自体が聖書預言です。それいかが？ それから、期待を裏切りません。リストを作りましたから。聞いて、5ヶ月ですよ。させてよ。10のリスト。私は預言のキャンバスをとて広い筆で描きます。思いついたのは、私がこう呼ぶものです。私たちがこう

して話している間にも、重大な意味を持つ、前例のない預言の展開が急速に実現している一覧表。この5ヶ月間、私がこうしなかったとは決して思わないでください。ちらっと見て、へ〜。すると妻がベルを鳴らすんです。妻からベルを取り上げねばなりませんでした。ええ、仰天です。私が5ヶ月間不在だった後なので、奇妙に思われるかもしれないのはわかっています。私はこれをしますが、日曜日にこれを見ていけば、その理由がわかると確信します。患難前携挙にどれだけ近づいているかを示す聖書預言の指標のリストのトップを端的に言うと、欺瞞とあざけり。私にはわかりません。まるで、コインの表裏。私はこのことについて主に尋ね始めているのは、もっと話しますと、、聞き出せるのはこれだけですからね。だから止めて！止めて。これだけです。日曜日に来てください。第二礼拝は、さあ聞いてください。学び終えますよ。第二礼拝の「説教」、節ごとの聖書の学び、「黙示録」の最後の4節を完結します。これに5ヶ月かかりました。まあ、牧師さん、あなた甘やかされすぎですよ。ええ、すでにお話したように、私たちは「最高のものを最後に取っておいた。」締めくくりの聖句は、この書の冒頭でさえそうですが、さらっと読み過ぎる感じでしょ？ 恵みと平安ね。はい、はい、はいと。そうしないでください。慌てないで。「黙示録22章」の最後の4節、18節から21節までで、時間を費やしました。そこには多くのことがありますよ。私の花嫁が亡くなる前に介護していた間、神の御言葉が、どれほど私の、キーワード→唯一の生命線だったか、率直にお話します。ですから、主の御心なら、なぜそれが誰しもの、唯一の生命線なのかを説明したいと思っています。そのために、私も含めて、私たち全員に、その聖句から自分自身に問いかけ、自分自身のために答える3つの質問を投げかけます。それが第二礼拝です。その後、携挙まで私と一緒にいてくださいね。始める準備はいいですか？ 楽しみにしていました。ご存知のように、今夜の学びは、「ゼカリヤ書」の節ごとの学びを再開する前の題材の学びで、主の御心なら、来週木曜日は、「ゼカリヤ書10章」を取り上げる予定です。来週はね。でも、今夜は題材の学びです。主が私の心に、皆さんと分かち合うようにと私の妻の死に関して、重く、とても重く印象づけられたものです。皆さんお許しくださるなら、お話したいのは、いかに、耐え難い状況の中で、言いようのない痛み、その大部分は今でもそうで、『私は神に「なぜ」ではなく、「何の意味か」を尋ねる。』その前に、タイトルについて説明する責務があると思います。その理由は、間違った質問に正しい答えはありません。例を挙げましょう。2つです。正しい答えのない間違った質問。

1) なぜ良い人に悪いことが起こるのか？

質問が間違っています。正しい答えのためには、正しく質問しないと正しい答えは出ません。どうやって正しい質問にするのか？ ひっくり返して正しい方を出す。逆さまだから。そして、代わりに次のように尋ねる。なぜ悪い人に良いことが起こるのか？ これで質問が正しくなりました。正しい答えが出ます。聖書は明確です。

「正しい者はいない。」(ローマ3:10)

いや〜彼らには良い心がありますよ。そうですか。彼らの心に祝福を。でも十分よろしくありません。神だけが良いお方。そして、すべての良い贈り物、完全な贈り物は神から来る。(ヤコブ1:17)

救い主ご自身がこう仰いました。「わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。」(ヨハネ15:5)

ご機嫌よう。「わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。」言うなれば、「何も良いことはできない。」そんなことを考えたことがありますか？ある有名な人の言葉です。「イエスがあなたにとって必要なすべてだと知るまで、イエスが必要なすべてだとはわからない。」さあ今、質問を正しくすると、正しい答えを得られます。これはデカイです。

2) 神が愛で、義で、全能でなら、なぜ神はこの世に悪や苦しみが続くことを許されるのか？

この質問を聞いたことがありますか？ 質問が間違っています。単純化しすぎているのは承知していますが、悪魔がこの世の神です。そして、悪魔に与えられた3つの具体的な肩書きで非常にわかります。

彼は、①偽りの父で、②兄弟の告発者で、③混乱の作者です。

では、サッと説明しましょう。サッとね。まだ、それに努力しているところです。私の語彙からサッとを、サッと取る。サッとします。言い換えれば、彼はたくさんの子どもの父です。彼らの名は「嘘」。彼は多くの本の作者で、そのタイトルは「混乱」。彼は多くのクリスチャンを告発する。兄弟たちの告発者。(黙示録12:10)

ですから、「真理」で、告発させず、混乱させない。その真理とは？ イエスです。神は愛で、神は義で、神は全能です。しかし、神は私たちに自由意志を与えてくださいました。強いられてではなく、愛から神を選ぶために。そして、もしそうするなら、そうする時、神は悪を善になさいます。どうやってなさるのか私にはわかりません。私はいつなさるかが知りたいです。または、なさるご方法を知りたいです。私は、神がなさると、信仰によって、信じるだけです。どうやってわかるのか？ 神は神の御言葉で、なさると私に約束してくださったからです。それが神の御言葉。私があなたにこう言うのと同じです。「私のことばで約束します。」私が事業をしていた頃、「私の言葉は私の結束。」当時、まだ事業を続けていることに驚きました。あ

あなたの言葉には何の価値もないから。ええ、私は古い人間だ！ 取引契約を握手でできた時代だ。おお、なんと、そんな時代はもうとっくに終わりました。何だというのか？ もうひとつ話して、今日の本題に入ります。私は聖霊によって、明確にこう言いませんでしたか？ 神の道は計り知れないと。神の道は、私たちの道ではありません。あり得ない。あり得ます。私たちの思いは、神の御思いではありません。誰が主の心を知っているのですか？ (ローマ 11:34)

天のこちら側では、神の道も英知もわからない。そして、決してこうは考えないでください。神が、「君には言わな〜い。」とは。小さな子どもが親に、「なぜ空は青いの？」親は、「神がお好きな色だからだよ。」子ども、「なぜそれが神のお好きな色なの？」親は、「神は、他の色よりもその色がお好きだから。」「じゃあなぜ神は、他の色がお好きではないの？」なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？ アイ、アイ、アイ、アイ、アイ。理解できない子どもを満足させることはできません。無限の神がここにおられ、神の道は、計り知れず、御思いは、知ることはできません。そして私たちは有限。神は、、、、実際、私の見方、言い方は、神は、「おお、愛しい人よ。わたしはわたしの道をあなたに伝えたい。あなたのなぜ？に答えたい。でもできないのだよ。あなたには理解できないから。」神は、仰らないのではなく、仰れないのです。私たちに理解できないから。いったん、それがわかると、神の御言葉と御言葉の神を理解しやすくなるでしょう。それを今から、していきます。「エゼキエル書 24 章」、15 節から 27 節、少し独断的に聞こえるかもしれませんが、そうなりませんように。そんなつもりはありません。真実なだけ。これは聖書全体で、最も不思議で、神秘的で、気がかりで、苦悩に満ち、でも慰めと、落ち着きを与えてくれる箇所です。

OK、牧師さん、すごいイントロですね。では、それを裏付けられます。今から見るように、預言者エゼキエルの妻が死にます。一読すると、実際には、慈悲と預言であるにもかかわらず、ほぼ神の残酷さのように思えます。ですから、私たちは、言わば腕まくりして、、、、御言葉に入ると、御言葉が私たちの中に入ります。私の願いと祈りは、私も含めて、私たち全員が、神の恵みと聖霊の御力によって、神のご主権での、永遠というレンズを通して「死」に違った見方をするようになること。今夜の「エゼキエル書 24 章」のこの箇所

で、それが私たちの目の前にあるからです。準備はいいですか？ 15 節から、

— エゼキエル 24:15 —

次のような主のことばが私にあった。

— エゼキエル 24:16 —

「人の子よ、見よ、わたしは一打ちで、あなたの目の喜びを取り去る。・・・」
止まれ。牧師さん、節の途中で止めるんですか？ 時計を見ないでください。いつまでですか？ 今夜はいつまでここに居るの？ 今夜は歯ブラシとパジャマを持って来るべきだったかも。大丈夫です。でも 2、3 あって、正しく設定し、理解しなければ、次に起こることが私たちの脳、思いと心のハードドライブを本当に潰します。これから始めましょう。「あなたから取り去る。」うわ〜 私の命の愛、私の目の喜び、自分の命よりも愛する妻を、私から奪うつもりですか？ 私はどうなるのですか？ それについて話し合う必要があります。考えてみてください。誰かいませんか？ 神は仰います。「わたしは彼女を連れて行き、わたしが面倒を見ます。」様相が変わりますよね。いつも、、、、前にも話しましたが、もう一度、率直に、オープンに、これにはいつも頭を悩ませてきました。「主が彼女を家に連れて行かれた。」神は彼女を取り去った？ なぜ？ 違う、違う。なぜ？ではない。その理由はわかります。でも、あなたが考えるようなことではありません。違うのです。説明させてください。どうか聞いてください。信じた方がいいです。敵は、私から言うことをあなたに聞かせたくありません。なぜなら、それは私の祈りの生活、結婚生活、家庭生活、教会生活、そのすべてを変え、解放する真理だからです。もっと早くこのことを理解していればよかったと思います。聞いてください。もし今夜私が言うことを何も聞かなくても、これは聞いてください。神がご存知なことをあなたが知っていて神が愛するようにあなたが愛するなら、神はあなたがするのと同じことをなさる聖霊があなたの心に働かれますように。今、私が言ったことを聞きましたか？ それは、聖典すべてのページの至るところで私たちが目にする証拠です。すべて完璧で、、、、外側から見ているとあなたは考える。

「いやいや、そうじゃない。私にはそう思えない。そうは見えない。」おお、私たちは目で見て歩むのですか？ なぜなら、目で見て歩むのは、信仰の対極だから。目で見て歩むのは、信仰の敵だと言ってもいいくらいです。ほら、世は、「百聞は一見にしかず」でしょ。それも逆さまで。それでは、他の逆さまな質問をしている人たちと同じ陣営だと思います。違います。見るから信じるのではありません。

イエスは仰いました。「信じるなら、あなたは見ます。」(ヨハネ 20:29/11:40 参照)

「私にはそれが見えません。」「じゃあ、わたしを信じなさい。わたしに信頼を置きなさい。わたしを信じなさい。わたしは自分のしていることはわかっています。あなたは、わたしが何をしているのかわからないのはわかります。それには理由があります。わたしが何をしているか話したら、、、、わたしはあなたのことをあなたよりよく知っています。あなたは、わたしを手伝おうとする。そんなことをしたら、全てが大混乱です。」子どもが小さいうちは、可愛らしくて、「パパ、手伝っていい？」あ、どうやって断る？ 「OK、可愛

い子。」で彼らが手伝うと、あなたは、彼らの手伝いなしで 20 分でできたことを、8 時間かけてやる。でも、とても愛らしい。だから、時に神は、ご計画を伏せておくこともあられます。あなたに関わらせられないため。他に理由はなく、神はあなたが神を手伝うだろうとご存知だからです。「わたしを手伝いたいのか？ じゃあ、手伝わないで。それがわたしを手伝うことになるから。」ですから、私たち、この件、大丈夫ですか？「取り去る。」は、間違っています。はい、私たちは自分のものではない。代価を支払って買い取られたのですから。キリストの血潮で全額支払われました。ですから、神は彼女を引き取り、面倒を見てくださいます。あなたの人生から何年も一緒だった人を引き剥がし、今まで聞いたこともないような痛みを味わうことになるようには、見てはいけません。違います。神は全知全能でしょ。それが何の意味かはおわかりでしょ？ 神は全てご存知です。初めから終わりをご存知です。すべてをご存知で、神がご存じでないことで、神に言えることなど何もありません。神は、真にすべてをご存知。今度、真にすべてをご存知な方に、言えるなら言ってみてください。「あなたは真にすべてをご存知ではない。私はそういう人を知っています。あなたに紹介します。」と。なので、もしそれが本当で、それは疑いようのない事実で、それなら、神は全知全能でご存知だから、エゼキエルの妻が死ぬことを前もってすでにご存知だったということでは？ ほら、私たちが生まれた日と、私たちが死ぬ日、私たちが母の胎内で恐ろしくも素晴らしく造られたその前から、生まれる日も、死ぬ日も、主の御手の中にあります。あなたや私は、神だけがご存知なその定められた時まで、一秒たりとも早く死ぬことはないし、一秒たりとも遅く死ぬことはありません。これは私なりの表現です。神は彼女を殺したのではあられない。神はもう、彼女が死ぬことをご存知。私たちにはわかりません。脳梗塞なら、そうなるでしょう。さあ、心に留めておいてください、このことは、もう出てきます。エゼキエルは、バビロンにいて、エレミヤは、エルサレムにいます。エゼキエルは、バビロン捕囚を預言していて、エレミヤは、エルサレムで民に、これから起こることを警告している。そしてそれは、神が彼らに仰ったとおりにになりました。当時の彼らにとっての預言は、私たちにとっての歴史。歴史を見ればわかります。まさにその通り起こりました。神がそう仰ったら、決まり。それで民は信じなかった。「エレミヤ書」、その学びにご一緒だった方、「エゼキエル書」と「エレミヤ書」ね、私たちはこの書を一節一節、一行一行学びました。エレミヤが、牧師のカンファレンスに招かれて話をすることはなかった。彼は誰も、真の生ける神に導かなかった。ヨナもそうだと思います。ニネベの街全体が悔い改めてキリストのもとに來たにもかかわらず、言うておくと、彼の失望は大きかった。ですから、これは、神がエゼキエルにご存知なことを知らせておられ、彼を安定させ、備えさせるような感じ、神がこれからなさろうとしている「こと/what」へ。「なぜ/why」こんなことをなさるのか？ではなく。この中で、あなたは「何/what」をなさるのですか？ 皆さん、よろしいですか？ 点と点が繋がりますか？ 前に進めるよう、ユーモアをお願いしますよ。「はい、お願いします。」と仰るでしょ。では、先に進みます。16 節を読み終えましょう。皆さん、シートベルトを締めるところですよ。神はエゼキエルに、あなたの妻、最愛の人が死ぬと仰ったばかりです。(16 節後半)

・・・嘆くな。泣くな。涙を流すな。

止めます。現代の中東もですが、当時の中東文化を理解する必要があります。11月に私が単発で木曜礼拝メッセージした「マルコの福音書5章」を覚えていますか？「マルコの福音書5章」のヤイロの娘。イエスがようやくある女を癒されてから、やっとのことで家に着いたら、大勢の参列者、嘆き悲しみ屋、フルート奏者で騒ぎ立てていて、イエスがなさったのは、彼らを追い出された。「出ていきなさい！」「いや、我々は雇われていますから。」それが問題です。彼らが、プロの嘆き悲しみ屋にお金を払っていたことをご存知ですか？ この人たちは専門家、泣き叫ぶプロでした。あ”～～～ん。「給料はいつもらえますか？」と。これが当時の習慣だった。そう、どうか区別してください。大事なことなので。悲しみと嘆きの区別をしてください。悲しむことは内側、嘆きは外に向かうものです。ですから神はエゼキエルに仰います。「嘆くな。」(外に向かって)「泣くな。」(外に向かって)「涙を流すな。」(外に向かって)「静かに一人ずつため息をつき、黙って泣け。」

一 エゼキエル 24:17 一

死者のためにうめけ。しかし、喪に服してはならない。

頭にターバンを巻き付け、・・・アロハシャツを着て、いや、私のバージョン (JDV)です。

・・・足に履き物をはけ。口ひげをおおってはならない。

(彼らが外向きにしてたこと↑) 人々からのパンを食べてはならない。」彼らの様子がわかるでしょ。人々からのパンを食べる。言い換えると、「エゼキエルよ、あなたの妻は死ぬ。わたしはすべてを知っているの、あらかじめ言うておくけど、わたしには計画がある。あなたに、伝統的な嘆きの仕方をしてほしくはないのだ。粗布と灰を被る代わりに、頭にターバンを巻き付け、足に履き物をはきなさい。」そうして 18 節、

一 エゼキエル 24:18 一

その朝、私は民に語ったが、夕方、私の妻が死んだ。

翌朝、私は命じられたとおりにした。うわ～エゼキエルよ、愛はどこにあるの？ まるで、これこそ、私が

神の御言葉が大好きな理由です。なぜなら、先ほど言ったように、御言葉に入ると、御言葉があなたの中に入る。すると聖霊が光を当て、聖句を記述を開いてくださるから、あなたは聖霊によって見る事ができ、理解することができる。エゼキエルは、妻の死において、また妻の死を通して神が「何/what」をなさろうとしておられるか信頼し、神が彼にするように仰った「こと/what」をしている。彼が打ちのめされていないとは一瞬たりとも思わないでください。こんな風に聞こえるから、「私の妻が死ぬ。翌朝、私は民に語った。その晩、妻が亡くなった。翌朝、着替えて仕事に行った。」うわ～ストイックというかね、冷静な感じ。感情なし。違う、違う、違う、違う。私は心からこう言えます。神が仰る、「あなたの人生の喜び」とは、ヘブライ語の慣用句で「あなたの瞳・最愛の人」彼は妻を愛し、妻は彼を愛していた。そして、エゼキエルが神に従っても、激しく悲しんだことは確かです。さあ 19 節は、「効果がある」節。そんな風に言ってもいいですか？ これを聞いてください。民が見ているのです。人々はあなたのクリスチャン人生を見えています。使徒パウロが語るように、私たちは生きた書簡、生きた手紙です。(II コリント 3:2)

人々は、私たちのクリスチャン人生という手紙を読んでいます。彼らは何を読んでいるのか？ 彼らが何を求めているかは分かっています。本物なのか？ 効果はあるのか？ 彼らにとって、本物で、効果があってほしいのです。それが本物でなく、効果がなければ、彼らには希望がないからです。でも、本物なら、あなたが宣伝どおりの本物なら、そして効果があるなら、彼らにとって、希望があるという意味になる。彼らはあなたが持っているものを欲しがる。なので、民がエゼキエルを見えています。控えめに言っても、彼らは困惑しています。それで、19 節でこの質問を促します。

一 エゼキエル 24:19 一

すると、民は私に尋ねた。・・・

「おい君～」、原文ではそうじゃなく、皆さんがまだ私と一緒にいることを確認しようと思っただけです。・・・「あなたがしているこれらのことは、私たちにとって何を意味する/what のか、説明してくれませんか。」「なぜ?/why」は、ありません。彼らの質問には、「なぜ?/why」が全くありません。「何を意味するの?/what」です。そして、彼らは「何を意味するの?/what」がさらに具体的になっていきます。・・・「あなたがしているこれらのことは、私たちにとって何を意味する/what のか、説明してくれませんか。」あなたのしているこれらのその意義、私たちへのしるしは何ですか？ 訳すと、あなたは一体何をしてるんですか？ 何があなたの行動をおかしくしているのですか？ 私たちはあなたがとにかく奇妙な人だと知っていますが、これはまるで、最高潮に奇妙です。どうしたのですか？「なぜ?/why」ではなく、「何の意味?/what」ですか？ その意義は、私たちにとって「何の意味/what」ですか？ あなたのふるまいは、変、奇妙、伝統ではない、常識はずれ。こんな見たことない。あなたの奥さんは亡くなったんですよ。それであなたは、頭にターバンを巻き付けている。粗布に、灰をまとい、嘆き悲しみ、喪に服すべきなのに。足には履き物をはいている。素敵な履き物ですね。どこで買ったの？ アマゾンです。効果がありました。まるで神がエゼキエルにこう仰っているのが聞こえてくるかのようです。「言ったでしょ！ わたしは、彼ら、わたしの民に、あなたに尋ねて欲しいのだ。」言い換えます。一体全体、あなたに「何/what」が起こっているんですか？ と。エゼキエルは答えます。20 節、

一 エゼキエル 24:20 一

そこで私は彼らに答えた。次のような主のことばが私にあった、と。

一 エゼキエル 24:21 一

「イスラエルの家に言え。『神である主はこう言われる。見よ。あなたがたの力の誇り（高ぶり）であり、あなたがたの目が喜び、あなたがたの心が大切にするわたしの聖所を、わたしは汚す。あなたがたが見捨てた息子や娘たちは、剣で倒れる。

彼らはバビロンにいて、息子や娘たちは、まだエルサレムにいます。おお、興味深いことに、またしても「あなたがたの目の喜び。」あなたがたの心が大切にするもの。エゼキエルにとっては、彼の妻。ユダの民にとっては、エルサレムと神殿。続いて 22 節、

一 エゼキエル 24:22 一

あなたがたは、わたしがするとおりにすることになる。あなたがたは自分の口ひげをおおわず、人々からのパンを食べなくなる。

一 エゼキエル 24:23 一

頭にターバンを巻き、足に履き物をはき、嘆かず泣かない。・・・

少なくとも、個人的に泣かなければならないの？ いや、それさえもできない。

・・・ただ、自分たちの咎のゆえに朽ち果て、互いに嘆き合うようになる。

そして皆さん、特に 24 節に注目してほしいのです。私はこれをマイクロドロップ（決まり）の節と呼ぶことにします。どういう意味かわかりますか？ これが「何の意味?/what」の答えそのものです。神よ、わかりました。その理由、なぜ?/why は聞きません。あなたのご方法や英知は計り知りません。でも、お聞きしたい

のは「何の意味？/what」です。民がエゼキエルに尋ねているように。「何の意味？/what」ですか？ では、わたしがしようとしている「こと/what」はこうだ。あなたを通してわたしの民に戻ってきてほしいのだ。それが 24 節です。

一 エゼキエル 24：24 一

エゼキエルはあなたがたのためのしるしとなり、・・・

また見ることとなりますよ。なぜこれが重要なのか？ そう、何のしるしか？ それは、あなたに指し示すしるし。誰を指し示すのか？ 主を。エゼキエルは預言のしるし。言わば、あなたがたへの道標。

・・・彼がしたとおりを、あなたがたもするようになる。このことが起こるとき、(起こるなら、ではなく起こるその時) あなたがたは、わたしが神、主であることを知る。』

わお！！ そこがポイントなんです。それが「何の意味か/what」です。だから、これは私に主を指し示すしるし。そうすれば主を知り、イエス・キリストの救いを知るようになる。そう、(マイクを落とす) 決まり！！ マイクを落としませんよ。マイク (音声係) が、後ろで心配しているでしょうけど。さあ興味深いことに、25 節で対話がシフトします。エゼキエルは、神に告げるよう命じられたことを民に話しているところで、神はエゼキエルに向き直って仰います。

一 エゼキエル 24：25 一

人の子よ。彼らが力とするもの、彼らの榮えに満ちた喜び、彼らの目の喜ぶもの、彼らの心に慕うもの、彼らの息子や娘たちを、わたしが取り去る日、彼らのがいっぱい。

そう、それが彼らの人生の喜びだった。エゼキエルが主から人々に語るよう

命じられて、こう言いました。「あなたがたの力の誇り (21 節) は高ぶり。」それこそ、彼らがしていたこと。自惚れて、「我々は神の民だ。ここは神の土地だ。あれが神の神殿だ。バビロニアがこの町を包囲し、神殿を破壊するはずがない。君はここから出ていけ。」それが、エレミヤが 40 年以上も聞かされたことです。彼が「涙の預言者」と愛称されたのも不思議ではありません。それに彼は、妻を娶ることを禁じられていました。なぜか？ 神は意地悪だから、ではありません。神は慈悲深いお方です。それについてまた後でお話ししますので、覚えておいてください。無理でしょう。エレミヤと結婚した妻が生き延びるのは、「エレミヤ書」の節ごとの学びにご一緒だった方、お分かりでしょう。彼の得た肩書きは、「涙の預言者」。またそれ以上。あの時代、あの場所で神の預言者として召された夫の妻は、生き残れません。神は彼女と彼を守っておられます。25 節で、「彼らの～」が満載、エルサレムで、彼らのものが。あれが彼らの目の喜び、彼らの願望。あれが彼らの基本的な偶像。そして自惚れている。

一 エゼキエル 24：26 一

その日、逃れた者が、(エルサレムから) この知らせを告げに (バビロンの) あなたのもとにやって来る。

一 エゼキエル 24：27 一

その日、あなたの口は逃れて来た者に開かれ、あなたは語る。もう黙っていてはならない。こうして、あなたが彼らのしるしとなるとき、・・・

エゼキエルは、視覚的に預言しただけで、口頭での預言はしていません。そうしてまたしてもここで、もう 1 つの、マイクを落とす/決まりの節。これが「何の意味？/what」。エゼキエルよ、ユダの民よ、このような状況で、わたしが何をしているのか知りたいだろう？ エゼキエルよ、あなたには何が何でも、民をわたしに導くしるしであってほしいのだ。民たちが恋しい。わたしたちはかつて親密な関係だったけれど、あなた (民) は離れて行った。失ったのではない、最初の愛から離れてしまった。帰って来なさい。こうして、あなたが彼らのしるしとなるとき、

・・・彼らは、わたしが主であることを知る。』

シンプルなことですが私は複雑にしたいのです。妻はいつも私に言っていましたから。「ハニー、あなたには複雑にする賜物があるわ。」私は彼女を連れて行き、聖書を見せました。「それは聖書にないよ。そんな賜物はないよ。探してみただけね。」用語索引を見て、検索しました。どの翻訳も全部見ました。妻は言いました。「気にしない。あなたには複雑にする賜物があるわ。」つまり、シンプルなことを不必要に複雑にすることができるということです。毎週木曜日、日曜日にするのでして。とてもシンプルで、子どもにでもわかるほどシンプルです。本当に。神は、あなたの人生に想像を絶することをなさるかもしれません。あなたは最初、こう見るでしょう。「神よ、なぜですか？」でもよく調べ、よく理解すれば気づく。神よ、なぜですか？ではなく、何の意味ですか？に。この目的は何ですか？この中で、私に何をさせたいのですか？その中で、それを通して、あなたは何をしようとされているのですか？お～ハビビ。私の大好きなアラビア語です。「よくぞ聞いてくれました。何の意味か？/what を言いましょ。あなたの妻は死んだ。何の意味か？あなたの妻の死を用いて、人々をわたしのところに呼び寄せる。あなたは、彼らにわたしを指し示すしるしです。あなたはその器、道具です。彼らはわたしを知る。わたしの救いの知識を得る。」主よ、他に選択肢はありませんか？多肢選択みたいには？「ありません。わたしがこれをするのは、わたしのやり方

で、わたしのタイミングに、わたしの栄光のために、わたしにしかできないことのためだよ。それらは素晴らしいのだよ。実際、あなたにも素晴らしくなる。」この記述の要約を含める必要があります。「第二サムエル記 12 章」、15 節から 23 節。ダビデ王のバテ・シェバとの姦通でできた息子の死。そうする理由のひとつは、私たちがどのように希望のない人たちとは異なって悲しむかを物語るからです。それも、こんな風ではありません。「そうであって欲しい。」いえ、よりよく理解すべきは、「保証。」頭金を支払ってある。または祝福された保証です。祝福された保証のない人たちとは悲しみ方が違います。「第一テサロニケ人への手紙 4 章 13 節」で使徒パウロが語ったように。どういうことかと言うと、ダビデは 7 日間、地面に伏して断食と祈りをして悲しみます。「7」は完成数。ウリヤの妻のとの間に生まれた息子。ウリヤの妻との間に生まれた息子とは？ 聖書がそう呼ぶからです。ウリヤはバテ・シェバと結婚していた。彼女は、ウリヤの妻だった。しかし、生まれた息子は死に至る病にかかった。それでダビデは、7 日間、嘆き、祈り、断食し、神に懇願した。それから、その子は死んだ。私はこの聖句の細部が大好きです。こういうのを聞いたことがあるでしょう。気をつけて言います。「悪魔は細部に宿る」私はそうは思いません。神が細部に宿られます。ここには細部がたくさんあって、ダビデの家来たちは忠実、彼らには手を出すな！これが警備の詳細です。意味わかりますか？ 彼らはダビデを見ていて、人々は、私たちのクリスチャン人生を見ているんですよ。7 日間、悲しみ、嘆き、断食し、祈っているのを彼らは見ている。そうして、その子が死んだ。彼らは怯えています。なんと、その子が死んだことをどうやって伝えればいいのか？ 王の様子を見てよ。その子が死んだとまだ知らない。その子が死んだと知ったら、王はどうするのか？ 彼らは本当に恐れた。どうしようか。。それで、ダビデの家来たちが困惑し、怯えていて、ダビデがしたのは、起き上がり、体を洗い、食事をする。何だって？ エゼキエルみたいですよ？ まあ、実際、血のつながった親戚ではありませんが、キリストの血縁です。だって、考えてみてください。妻の死後のエゼキエルのように、ダビデの非常に風変わりな、奇妙で、異例な行動に、彼らはただ困惑し、啞然とさえしています。いったい何が？ 何してるんですか？ 何なのかと言うと、何なのか、これから話そう。または「何の意味？」の質問が続きます。今回の、「何の意味？」の質問は、あなたは何をしていますのですか？ このような行動をとる理由は何ですか？ それはどういう意味ですか？ エゼキエルみたい。「第二サムエル記 12 章 21 節」に記録されています。

一 II サムエル 12:21 一

家来たちは彼に言った。「あなたのなさったこのことは、いったいどういうことですか/what。・・・

またしても本文中に、「なぜ？」がどこにもありません。どういうこと（意味）ですか/what？ あなたのなさったことは、↑ これ大好きです。これは、「いったい何をしていますのですか？」と、理解した方がいいかもしれません。これは普通の人間がすることではありません。

・・・お子様が生きておられるときは断食をして泣かれたのに、お子様が亡くなられると、起き上がり食事をされるとは。」どうしちゃったのですか？「なぜ？」は、ありません。「どういうことか？」です。どうなっているのですか？ 彼らの質問に対するダビデの答えが、次の 22 節と 23 節、ダビデは「何の意味？/what」に答えます。

一 II サムエル 12:22 一

ダビデは言った。「あの子がまだ生きているときに私が断食をして泣いたのは、もしかすると主が私をあわれんでくださり、あの子が生きるかもしれない、と思ったからだ。

一 II サムエル 12:23 一

しかし今、あの子は死んでしまった。・・・

(さあ、修辭的質問が出ます。)

・・・私はなぜ、断食をしなければならないのか。あの子をもう一度、呼び戻せるだろうか。

(修辭的。)

私があの子のところに行くことはあっても、あの子は私のところに戻っては来ない。」私が言いたいことはまさにこれです。「まあ、やっとなですね。J.D.牧師。45分経って。」時計を見ないでください。45分経っています。さあいきますよ。もう終わります。希望を持ってね。エゼキエルとダビデ、彼らのような多くの人々は、死について「何の意味か？/what」か理解した。クリスチャン・ファイナンシャル・コンセプツ社の故ラリー・パーケット氏はこのように語ります。「生きている間にささげなさい。行き先はわかっているのだから。」素敵ですね。だから拝借しました。ええ、盗みました。でも私は聖なる方法でね。イエスの御名によって。死と悲しみという文脈で修正しました。そして思いついたのが、「彼らが去っていく最中に、悲しみ始める。彼らがどこへ行くのかを知りながら。」おお、なんとということでしょう。言います。私は5ヶ月間、私の人生の喜び、願望、私の瞳、自分の命よりも愛する女性と一緒に座っていました。それでこんな会話をしています。彼女の行き先はわかっています。彼女は行き先を知っています。実際、彼女はもっと早い便に乗りたいたって言っていました。私は、「どうもありがと。」それくらい、彼女はイエスと一緒にいることにワクワクしていました。もっと日曜日にお話しします。言ったでしょ。聞き出せるのはこれだけ。だから止めてね。

聞き出そうとしないで。さあ、家に連れ帰ることで、、、聞いてください。どうかお願いします。預言者の妻を家に連れ帰ることで、神はその愛と憐れみにより、彼女を言いようのない痛みと苦しみの人生、最愛の人への激しい反対と悪質な攻撃を目の当たりにすることから救い出されました。夫の人生への神の預言的召しだから。私のケリー、私の妻は、早くから私と約束をしていました。彼女は、牧師の妻になるために契約したのではありませんよ。事実、真実は、彼女は牧師の妻が何なのかさえ知りませんでした。そんなことがあるなんて知らなかった。当時、私は自分の事業を持っていて、彼女はそれに契約したのです。そして、神が私を神にメロメロにされて、牧師の聖職に召されました。そして彼女は、よく知りもしないこの領域に放り込まれたのです。準備不足と言われても仕方ありません。彼女は多くの打撃を受けました。どんなミニストリーでも、縁の下の力持ちがいます。牧師ではなく、牧師の奥さんですよ。世はハイジャックされています。アラブ人が、ハイジャックと言うべきじゃありませんが、言いました。橋をかけて、乗り越えろ。世はハイジャックされています。偉大な男の背後には、偉大な女がいる！ 頼むから、自分のネタを使いなさいよっ！ それは御言葉の中にあります。(男の) 助け手。「創世記」を最後まで全部見ると、牧師の妻だけでなく、牧師の子どもたちもです。サタンは、牧師にやる方法を知っています。妻や家族を攻撃するのです。覚えています。前に話しましたが、サビアが、6、7歳だったかな。学校から帰ってくると、泣いていました。だからホームスクールをしたのです。「サビア、どうしたのだ？」「男の子が私を虐めるの。彼は本当に意地悪なの。」さあパパは、「その子の名は？ どこに住んでいる子？」ええ、私たちは子どもや妻を猛烈に守ります。ご主人方、そうでしょ？ イエスは仰いました。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです。(マタイ 25:40)

はい、それは両作用です。あなたが変なことを言ったり、私の妻の噂を広めるなら、皆さんではありません。指差したり、見たりしない方がいいね。ごめんなさい。本土、本土の話ですからね。皆さんのことではありません。あなたがたは素晴らしい。でもサタンは、それが牧師のアキレス腱だと知っています。それが敵のすること。攻撃し、傷つける。言っておくと、多くの牧師を倒してきました。私が聞いた統計の中には、過去のものもありますけど、信じようにも信じられないようなものもあって、毎月、2,000人もの牧師が牧師を辞めています。毎月。年間 24,000人ですよ。風上側の、町中の店に入っても、誰も働いていないようなもの。なぜ？ 辞めたから。誰ももう働いていない。空いている窓は7つあるのに、働いている牧師は1人だけ。最近優秀な助っ人を見つけるのが難しく、特に最低賃金を払うとなるとなさらすですよ。これは神の慈悲では？ 層を剥がせば、彼女を救い出しておられる。神は彼女に、エゼキエルにも慈悲を示しておられます。ダビデも同じです。聞いてください。ウリヤの妻との間に生まれた息子を家に連れ帰られることで、神はその愛と憐れみで、3人全員を以下のことから助けられました。考えてみてください。隠し子として受ける激しい反対と悪質な攻撃、言いようのない痛みと苦しみの人生から、またダビデの人生への召しから。これは神の慈悲です。神はダビデとバテ・シェバにもう一人、息子をお与えになります。その名はソロモン。イスラエルの後継の王。神殿を建ててののです。神は何をなさっているかわかっておられます。他に指摘しないのは、大失態になってしまいます。聖書預言に関することです。まさか皆さん、このまま逃げ切れとは思ってないでしょ。どうか、、、私は我慢できません。それが私の話で拘りです。これにはすべて聖書預言が含まれています。エゼキエルの花嫁が来たる滅びの前に連れて行かれるのは、キリストの花嫁が7年の患難時代前に連れて行かれる雛形です。旧約聖書には、このような類型論が繰り返されています。ヨセフは、7年の飢饉の前に異邦人の花嫁を迎えた。それでダビデは、これも事実にも、7日間。興味深いと思いませんか？ 8や6や5ではなく、「7」完成数。なんという偶然でしょう。偶然ではありません。7日間というのは、来たるべき患難時代前に神が連れ出される、ある種の聖句の描写です。「第一、第二サムエル記」でダビデの人生を学んだの覚えていますか？ 機能不全の家族について。私たち全員がそうですよ。私たちは機能不全家族の出です。私はまだ、私に近づいてきてこう言った人に会ったことがありません。「私は機能不全ではない家庭の出です。」冗談でしょう？ サインをいただけますか？ ご家族に会ってもいいですか？ あなたのような人には会ったことがありません。私が知り合った人たちはみんな、「私は機能不全の家族の出です。」少し説明してもいいですか？ 私たちはみんな罪びと/機能不全者です。そういう親と子。ところで、あなたはその機能不全家族に加担しています。嘘をつくことを教えられましたか？ いえ、それは簡単でした。どうもありがとう。あなたの罪の性質のせいだから。私たちはみんな機能不全です。だからイエスが来られたのですよ。私たちはみな罪深く、機能不全者です。アブサロムの話を読んだら、あれはきつかったです。それを考えると、「第一、第二サムエル記」の『ダビデの生涯』を通して教えたことは、今でも口の中に残っています。あそこには厳しい箇所もありましたよ。でも彼には、多くの妻がいたはずで、異母兄弟、異母姉妹。機能不全の話です。あなたは機能不全家族を撮影するなら、その下には「ダビデ王の一族」と書いてある。それって、とにかく、OK、始めます。まだ時計を見ないでください。下線、ハイライト、太字の斜体、キーワード=これで着地し始める。始める、です。これが私の締めくくりの始まりです。早足で行きますよ。皆さん頼みますよ。皆さん、5カ月、我慢してなかったんだから。「5」は恵みの数で

す。なので、「5」の「何の意味？/what」を加えました。だから恵みです。主だけがお出来になる「5」の「何の意味？/what」。すでに個人的に私に導いて下さいました。言うまでもなく、その「何の意味？/what」は膨大な数で、主は、ご自身の永遠のいのちの御言葉の中で、御言葉を通して、ご忠実に啓示し続けておられます。あなたがたの間で良い働きを始められた方は、それを完成させてくださいます。(ピリピ 1:6 参照)

神はご自分の働きを未完成のままにされません。ご自分の作品を。新約聖書原語のギリシャ語のポエマ。英語のポエムの語源です。私たちは神の作品ですよ。ええ、まだ未完成です。早くしたほうがいいですよ。「ええ、完成しますよ。彼はちょっと難しいケースで、普通より、ちょっと仕事が多いだけ。」私たち、「私はキリストに人生を捧げた」と言い、主を褒め称えます。さらに大きな奇跡は、神がそれを受け入れられたこと。私が天の軍勢で、ここで「主よ、私の人生をあなたに捧げます。」と言うと、「この男は止めた方がいい。よろしくない選択です。ダメ。」神は、誰も追い出されません。(ヨハネ 6：37 参照)

あなたのままで来なさい。「ええ、でもその前に自分の行動を綺麗にしないとね。」そんなの、お風呂に入る前にシャワーを浴びるのと同じですよ。イエスが、内側から清めてくださいます。どうやって？ 聖霊によって。「いやいや、、、」誰かを教会に誘う。「僕がその教会に入ったら、壁が陥没さ。」ああ、あなたも罪びとですね。「まあ、教会は偽善者だらけですからね。」それに対して私はいつもこう言います。「いつでも、もう何人か使えます。」よろしい。サッといきます。1番、

1) 痛みを感じることを自分に許せば許すほど、痛みが癒されていくのがわかる。

逆に、今日、その痛みを和らげようとすればするほど、先延ばしにすればするほど、痛みは深まり、明日は、必ずより大きく、より激しくなる。

保証または返金付きです。

2) 痛みを感じるほど、愛を感じる証拠で、さらに重要なのは、もっと神の愛を感じる。

サッとお見せします。私、「サッと」の調子あまりよくないですよ。私のために祈ってください。2週間ほど前のことです。私はただ、ベッドに横たわって主に叫んでいました。涙の祈りはとくに通り過ぎました。わかるでしょ？ つまり、私は言葉で祈りを捧げていません。涙腺が枯れ果てたので、もう涙の祈りではありません。心からの叫びでした。呻きの声なので、聖霊が執り成してくださり、イエスは御父の右の座で祈ってください。私は、「うわ〜神よ、非常に痛みがあります。妻を心から愛しています。」ビックリするでしょうけど、彼女も私を愛してくれました。彼女も私のことを少しは好きだったみたい。主が何をされたと思います？ 私に駆けつけてくださり、主の愛で溢れさせてくださいました。あの時のような神の愛を経験したことは今までありませんでした。私は神の愛だけを感じることができました。神の腕が私を包み込み、密着してハグしておられるようでした。「息子よ、わたしがあなたを掴んでいます。とても痛いのはわかっています。でもわたしは、あなたを愛している。なぜこんなに痛いのかというと、あなたが彼女とわたしをととても愛しているからだ。」考えてみてください。誰かが亡くなったのを聞いて、あなたの知らない人で、あなたは傷つきますか？ いいえ。お悔やみの言葉を送る。痛みは、愛に比例する。その逆もまた然り。その逆、痛みを感じないようにすればするほど、神の愛を感じることから自分を奪ってしまう。3つ目、(スピード) 悪くないでしょ？

3) この地上で痛みを感じれば感じるほど、天国の栄光を感じるようになる。そして逆に、この世での痛み、一時的な現実を感じないようにすればするほど、天国の永遠の現実を感じなくなる。

ひとつ言います。私には4人の子どもがいます。娘のノエル、今は妻と一緒に、彼女らは待っています。私の天の豪邸に仰天しているでしょうね。でも、この人生、一時的な世で苦しむとき永遠の天国に行くのが、楽しみになります。土曜日に、ケン牧師が仰ったことが大好きです。ただの引越しだけでなく、再会なんだよ。おお、待ちきれません。どんな再会になるでしょう。4つ目、

4) 痛みを感じれば感じるほど、この世とこの世の事柄への執着が解き放たれる。逆に、一時的なこの墮落した世で痛みを感じないようにすればするほど、永遠の天国が目的地になることはなくなり、そのモチベーションさえなくなる。

ちょっと考えてみてください。私にはたくさんの愛する人がいて、今は最愛の人と天国にいます。私がそこに行きたいと思わないとでも？パウロもこのことに苦労しました。「私はただ主と共にいたいのです。でも、あなたがたのせいで！」いやいや、強調音追加。いや、だって、皆さん、まだ私が必要でしょう。だからまだ行かないよ。どうもありがと。でも、もし私が選べるなら、もう昨日でも、ここを出たかった。でも、あなたがたのせいです。まだ私が必要だから、私はここで足止めを喰らっています。(ピリピ 1：23-24 参照)

ちなみに、お知らせすると、ケリーは私にそんなことを言ったことはありませんし、言わなかったでしょうけど、私は40年近く一緒にいて、一度も彼女に思いやりのない言葉をかけたことはありません。一度も。

できなかつた。5つ目、恵みです。

5) 内側に悲しみを感じ、外に向かって嘆くほど、非常に必要な、神の子、子なる神、イエスを思い起こさせる。

もう一度言います。私たちの信仰の創造者で、完成者のイエスは、悲しみや嘆きをよくご存知でした。「ヘブル人への手紙」の書き手は語ります。イエスは辱めをもろともせず、十字架を忍んだ。(ヘブル 12:2) なぜ? どうやって? ご自分の前に置かれた喜びのために。称賛に目を据えておられた。そう、イエスは指を鳴らす必要さえなかった。私たちのような地元の人みたく、眉をひそめる必要はありません。今のよかった? 多分ダメ? 本土の方、もう遅いから寝てください。もう終わります。ほとんどね。ごめんなさい。イエスはいつでも十字架から離れることがお出来になりました。でもそうならなかった。かかり続けられた。愛が故に。人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。(ヨハネ 15:13)

では、これは「ローマ人への手紙 8 章 18 節」で締めくくるためのお膳立てでした。締めくくりと言うと、嬉しくない? 使徒パウロは、この章全体ですが、使徒パウロ、この 8 章は、ビックリドカーンの章です。

— ローマ 8:18 —

は、取るに足りない私は考えます。

(翻訳によっては、私は見なす。) 本当に調和して、折り合いをつける。私は熟考した。陪審員はもういない。結果は出ている。

— ローマ 8:18 —

今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りない私は考えます。

「何の意味? /what」が多々ここにありませんか? 「なぜ? /why」ではなく。神よ、なぜ悪が栄えるのですか? 「詩篇 73 篇」のアサフに聞いてください。彼はそれと格闘して、ようやく理解して気づいた。「ちょっと待てよ。彼らの終わりがどうなるかわかる。そして、自分の終わりがどうなるのかもわかる。」彼は気がついた。これについて考えてください。それで終わりにします。最後の締めくくりです。悪くないですよ。仮に、私たちが患難前携挙なしに、生きているとしましょう。今、素晴らしいタイミングです。特に、彼ら(会衆)のために、彼らにとってと言いたいですね。80 歳まで生きるとしましょう。以前は、70 歳と言っていたんですが、もう 70 歳に近づいているので、引き上げます。そうしなきゃね。ちょっとゾッとしますね。ええ、できます。私は牧師的に自分の描写を修正できますから。だから 80 歳まで.....仮に 80 年生きるとして、 $3 \times 20 + 10$ の 70 歳でなく。そう、80 歳。80 年。まず、主が携挙をされないなら、90 まで引き上げますよ。今のところ 80 年。80 年。それで、80 年間のすべての苦しみを取って、最初の 5 年間は何もわからないでしょう。私が話をした人たちは、一番古い記憶は 3 歳の時だったと仰います。まるで、機能的なご家庭で育ったのですか? とにかく、ええ、80 年、苦しみで満載。試練に試練が重なり、苦労の連続、連戦、休む暇なしの 80 年。それを天秤にかけましょう。では、栄光をその天秤の反対側に置いてみましょう。もう死も、涙もなく、苦しみもない。もう死がないのです。聞きました? もう死がない。もう悲しみはなく、もう苦しみはなく、もう痛みはなく、もう涙もない。もう賃料もない。ゴキブリもシロアリもなにもない。通りが黄金。私は救い主と一緒に。この厳粛で輝かしい永遠の再会を、愛する人たちすべてとする。そして大勢の人々。さあ、そこに加えて、私自身のことを言います。ノアに会うのが待ちきれません。「私の名前はノア。」などの名札はありません。私たちはお互いわかります。私たちはわかるし、会うことになるし、いや~、わお~!! 聖書にヨハネ曰く、肉に従ってのように、天国で、私たちがお互いを知るのではない。人々に聞かれます。「どうやって互いがわかるのですか?」ある人が、これは私が言ったのではないので、私を見ないでください。そういう目は止めてね。私の答えではありません。「天国で互いが分かるのですか?」その牧師の答えです。私じゃなく他の牧師ね。「もちろん! 天国ではこれ以上愚かにはなりませんよ。」彼がもうその教会で牧会をしているかどうかはわかりません。あるいは何年も通っていないかとかね。でも彼は正しいです。正しい。さあ、このことを理解できるようにし始めませんか? そうすることで、永遠の視点に立てるからです。ええ、私の妻は死んでいません。彼女は今まで以上に生き生きしている。最後に、日曜日について聞き出せる最後の 1 つ。これで終わります。

カポノ、あがってきてください。そうすれば、終わりたくなるから。皆さん、ご起立ください。今話しているのは「永遠」です。どのくらいの時間なのか? あの古典的な映画音楽の、偉大な神学者たちの言葉を引用します。永遠です。天国には時計はありません。必要なし。でしょ? 1000 年は、わ~朝食を取っただけだね。ええ、天国に食べ物がありますよ。ご存知でしょ。さらに 1 万年が過ぎ、パウロにまだ会っていない。もう 1000 年が経って、やっとペテロに会える。皆さん、私がどう締めくくりたいかわかりますか? 今夜、この教会を後にしないでください。今日は来てくださってありがとう。今夜、戻って来れて嬉しいです。皆さんが恋しかったんです。本当に。皆さんに会いたかったんです。それに妻は、できるだけ早く、説教壇に戻ったほうがいいと言っていました。でないと、心が砕かれ症候群で死ぬわよ。だから基本的に、妻に言われてここにいます。いやいや、でも、彼女の言う通りでした。彼女はいつも正しかった。でも今夜、

あなたがこの教会に来た時と同じようには、帰ってほしくありません。より良い言葉がないのですが、「気づかない」という言葉を使いたいと思います。この人生に比べて、永遠という現実には。ヤコブが語るように、この人生は霧のよう。パッと消える。私たちの人生は霧。(ヤコブ 4:14)

ある日、本土の兄弟が来て言いました。「なあ、君の霧はどう？」私は、えっと、、、ちょっと考えました。反応が遅かったんです。「あ〜わかった。冗談ね、冗談。」そうです。永遠に比べれば霧です。そりゃそうです。比べる価値なし。どんな問題であれ、あなたが今夜、この神の教会に持ってきた問題が何であれ、永遠の視点で見てください。永遠というレンズを通して見てください。あの讃美歌を思い出します。ええ、カポノが、「僕に上がってこいって言うけど、しばらく楽器をひくだけ？」さあ、続けて。止めろと言ってないよ。そう、あの賛美、「地上の事柄が妙に薄れていく。あなたの目をイエスに向けると。」イエスから目を離さないでください。そう、イザヤだっと思います。章と節は言えませんが、悲嘆の霧は現実だからですよ。お伝えしておきます。主に目を据える者を、あなたは全き平安のうちに守られます。(イザヤ 26:3) 平安の神からの神の平安。もしイエスのためでなかったら、私が今夜この説教壇に立つことはなかったでしょう。そうするのが私の深い特権です。ええ、いろいろありました。しかし、神は。しかし、神は、物事の壮大なご計画で、、、ええ、待ちきれません。待ちきれません。私が以前、患難前携挙に興奮していると思った？ お〜、見てよ。「聖書預言・アップデート」参加は自己責任でお願いします。言えるのはそれだけです。はい、じゃあ終わり。スムーズな終わりがいいでしょ。一緒に祈ってくださいませんか？

主よ、私たちはあなたに畏敬の念を抱きます。主よ、あなたのような方がいるのでしょうか。(出エジプト 15 : 11)

そう、人生は厳しいけれど、あなたは良いお方。あなたは常に良いお方です。どんなに悪くなくても、あなたの慈しみ深さを変えられないし、変わることもありません。不可能です。オンラインの人か、この教会にいる人で、本当につらい思いをしている人のために祈ります。どうか彼らがこの後、、、まるでマリアのように、心に納めて、思い巡らせていた。(ルカ 2 : 19)

瞑想し、実践しますように。聞くだけでなく、みことばを行う者になりなさい。(ヤコブ 1 : 22)

本当に心に刻みますように。ああ、これはひどい、とても辛い痛みです。でもイエスよ、あなたは十字架にかかれ、人間の想像を絶する肉体的苦痛を経験されました。私たちのために。そうしてあなたは、死に打ち勝ち、三日目に墓からよみがえり、天に昇り、御父の右に座すことがお出来になりました。主よ、私たちはそれほどかからないと思います。主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって私たちは祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7